

日曜日礼拝順序

2017年1月15日 午前11時 南部チャペル

前奏		武井里花姉
頌栄	539	
開会の祈り		Scroggins 由紀牧師
主の祈り		一同
交読文	5 詩編19篇	
賛美歌	2篇161 “輝く日を仰ぐとき”	
祈りの時		Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		下竹由美子姉
	創世記2章7-9節	
賛美歌	502 “いともしこし イエスの恵み”	
説教	“人権と聖書の教え”	Scroggins 由紀牧師
賛美歌	352 “あめなるよろこび こよなき愛を”	
献金		坂田淑姉
報告		
頌栄	541	
祝祷		Scroggins 由紀牧師
後奏		武井里花姉
姉		
(礼拝終了:奉仕開始)		

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

憩いの場

“確かな約束”

“見よ、わたしはすぐに来る。報いを携えてきて、それぞれのしわざに応じて報いよう。”(ヨハネの黙示録22章12節)

私は自分でも以前、店に勤めていたことがあるため、個人商店には思い入れがあります。ある時、ボタンがクリーニングで壊れてしまい、探していたところ、ちょうど、東京の商店街でいまだきめずらしいボタン専門店を見つけました。とても狭い店内に所狭しとボタンが並んでいます。そこにいた中年の女性が、いろいろと品物を見せてくれたのですが、ボタンといっても装飾品の一部だったことを思い出しました。2, 3点気に入ったものがありました。飾りボタンは結構値段が張り、すぐには決められなかった。他を歩いてからまた戻ることになりました。30分ぐらい後に戻ると、“あら、戻ってきたの、そういっても本当に戻ってくる人は珍しいのよ”と、その女性はいたく感激して、ディスカウントまでしてくれました。ありがたかったですが、昨今は戻ってくるといつてこない人のほうが多いのか、と考えさせられました。

人間同士の口約束、というのはこの世にあふれていて、確かなものではなく、それに慣れてしまうと、聖書に書かれている神の約束も絵空事のように思えてしまうかもしれません。しかし、見よ、わたしはすぐに来る、と主イエスは約束されました。私たちが十字架の贖いにいたるまで愛して下さった主イエスのいわれるみ言葉は変わることがありません。ツイッターなどから発せられる言葉のむなしさは泡のように感じますが、だからこそ、私たちは聖書に書かれている約束をもう一度見直すときに来ているのではないかと思います。(Scroggins 由紀)

記事：消息

— 陳百合子姉、南部 Ethel 姉、南部勝牧師、英語部の Kate Whitmore 姉、Joseph Feiler 兄、日本に戻られた小坂るみ姉、加納姉のお孫さんの Casey 姉など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。

— 1月8日の説教は、“創造主としての神”と題して、創世記1章27-31節からでした。神は自然界の創造主であり、ご自身の似姿に人間をつくられ、創造物をよしとされました。人間に託された自然界への責任と、いのちの尊厳、人間の犯してきた自然界への罪、主イエスのご来臨後の未来における自然界と人間の回復について考えました。

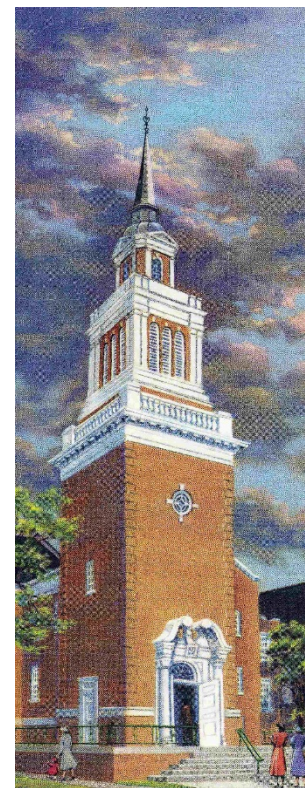
お知らせ

— 本日、15日は、1960年代に市民権運動のリーダーとして活躍された、キング牧師の誕生日を記念して、礼拝後、全教会でイベントがあります。ランチは12時30分からはじまり、2時15分からHowel Hallにて、JASCのレガシーセンターのマネージャーであり、DePaul Universityで教えておられるRyan Yokota 兄が、日系人が戦時中に収容された経験をお話してくださいませ。参加費は無料です。どうぞご参加ください。

— 今年のDay of Remembranceの集会は2月19日の午後2時からです。詳細は追ってお知らせいたします。

— 1月29日は中村朗師が来られて、終末についての説教をしてくださいませ。その後はランチ親睦会があります。どうぞご参加ください。

— 来週の賛美歌は9、354、495です。



週報

第3609号

2017年1月15日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org

発行：2017年1月11日ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話：773-728-4200 Ex 26